



大空に舞い上がれ!

(第15回 石川県紙ひこうき大会inかほく 会場: 県立看護大学)

CONTENTS

平成21年 第2回 定例会	2
平成21年 第2回・第3回臨時会	5
一般質問 (5人が登壇)	7
常任委員会レポート	12
正副議長あいさつ 議員紹介	16

経済危機対策に
約11億円を計上

かほく市議会は「チーム・マイナス6%」に登録し、温暖化防止に取り組んでいます。

かほく市議会議員18人紹介 議長に杉本成一氏、副議長に金田正信氏

5月12日、かほく市議会第2回臨時会が開催され、正副議長などの議会人事が決まりました。

①議席番号 ②住所 ③当選回数 ④所属政党名



議長就任のあいさつ
すぎもと せい いち
杉本成一 (58歳)
①15番 ②谷 ③3回 ④無所属

市民の皆様方の温かいご支援・議員各位のご推挙により議長に就任いたしました。身に余る光栄と責任の重さを痛感しております。地方分権が進むなか、景気の低迷等々で財政も厳しさを増しており、市民の皆様方にご理解をいただきながら、市執行部と切磋琢磨、議論し、かほく市の発展のため頑張る所存であります。今後とも議員各位、市民の皆様方のご支援・ご協力を



副議長就任のあいさつ
かね だ まさ のぶ
金田正信 (59歳)
①9番 ②松浜 ③3回 ④無所属

この度、かほく市議会第6代副議長に就任させて戴き、身に余る光栄であり、責任の重さを感じております。かほく市の更なる発展と議員相互の融和を図るべく、一生懸命頑張りたいと思っております。もとより浅学非才な身ではありますが、選挙で選ばれた議員の一人として、市民の皆様方の負託に応えて参りたいと思っておりますので、今後とものご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



べつそう
別宗 明敏 (61歳)
①18番 ②外日角 ③3回 ④無所属



いむら
猪村 博靖 (56歳)
①17番 ②指江 ③3回 ④無所属



てらうち
寺内 照雄 (58歳)
①16番 ②上田名 ③3回 ④無所属



にしだ
西田 正剛 (63歳)
①14番 ②浜北 ③3回 ④無所属



たけうち
竹内 幹雄 (57歳)
①13番 ②高松 ③3回 ④無所属



おきつ
沖津 千万人 (48歳)
①12番 ②秋浜 ③3回 ④無所属



あらい
荒井 三喜雄 (61歳)
①11番 ②高松 ③3回 ④自由民主党



すぎもと
杉本 正一 (58歳)
①10番 ②木津 ③3回 ④無所属



たまたみ
多々見 武 (66歳)
①8番 ②高松 ③3回 ④無所属



うの
宇野 順一 (65歳)
①7番 ②箕打 ③2回 ④無所属



あだち
安達 肇 (52歳)
①6番 ②宇野気 ③2回 ④無所属



とだだ
遠田 順 (46歳)
①5番 ②木津 ③2回 ④無所属



たかはし
高橋 成典 (57歳)
①4番 ②遠塚 ③2回 ④日本共産党



たまたみ
多々見 邦次 (63歳)
①3番 ②内高松 ③2回 ④民主党



さかい
坂井 正毅 (62歳)
①2番 ②高松 ③2回 ④無所属



かねこ
金子 猛 (42歳)
①1番 ②白尾 ③1回 ④無所属

平成21年 第2回 定例会

会期/6月16日～6月26日

平成21年6月16日から11日間の会期で第2回定例会が行われ、平成21年度一般会計補正予算など7議案について審議し、原案のとおり承認・可決した。また議員発議による議会議案2件についても原案のとおり可決した。今回の一般会計補正予算は国の経済危機対策によるものであり、国から総額約7億円、県から総額約1億4千万円の交付金を見込むものである。



高松グラウンド・ゴルフ場トイレ整備

経済危機対策として 大型の補正予算約11億円を計上

21年度一般会計補正予算 (第1号)

地球温暖化対策に 約4億6千万円計上

歳入歳出をそれぞれ11億7千175万円を増額するもの。(賛成15、反対1)

歳入の主な内容

●国庫支出金(国から) 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金3千684万円、子育て応援特別手当交付金3千960万円、子育て応援特別手当事務取扱交付金550万円、安全・安心な学校づくり交付金(小学校分)1億2千529万円、安全・安心な学校づくり交付金(中学校分)1千725万円、公立学校施設整備費補助金(小学校分)5千744万円、公立学校施設整備費補助金(中学校分)811万円、経済危機対策等臨時交付金4億396万円を増額。

●県支出金(県から) 介護基盤緊急整備等臨時特例交付金1億2千75万円、緊急雇用創出交付金2千30万円を増額。

●寄附金 社会体育費寄附金200万円、その他76万円を増額。

●繰越金 前年度繰越金3千842万円を増額。

●諸収入 コミュニティ助成金(地域防災備品分)200万円、スポーツ振興くじ助成金800万円を増額。

●市債 エコ改修事業債(小学校分)2億4千880万円、エコ改修事業債(中学校分)3千360万円、学校ICT環境整備事業債(小学校分)290万円、学校ICT環境整備事業債(中学校分)20万円を増額。

●民生費 七塚健康福祉センター冷温水発生機取替工事1千500万円、福祉巡回バス事業(低床バス購入、市営バス利用事業委託料など)3千450万円、介護施設整備補助金1

億2千75万円、介護施設スプリンクラー整備補助金3千684万円、子育て応援特別手当事業(3歳から5歳児1人当たり3万6千円)4千510万円、保育園遊具修繕・備品購入費・地デジ対応など1千518万円、地デジ対応備品購入(子育て支援センター・学童保育クラブ・児童館)267万円、その他26万円を増額。

●衛生費 ほのほの健康館空調設備修繕など169万円、不妊治療費助成費の拡充130万円を増額。

●労働費 緊急雇用対策事業(臨時雇用21名分)2千30万円を増額。

●商工費 プレミアム商品券発行補助金1千万円、その他20万円を増額。

●土木費 高松IC雨水排水対策工事3千950万円、公園維持管理事業(水辺公園・潮見台公園)2千900万円、公営住宅取壊工事(4戸分)241万円を増額。

●消防費 消防資機材など購入費560万円、消防分団FAX更新180万円、防火水槽有蓋化(5箇所)1千100万円、地区災害対策備品など220万円、インフルエンザ対策備品350万円を増額。

●教育費 スクールバス更新(1台)1千697万円、小学校遊具修繕工事800万円、教材備品購入費(小学校分)290万円、教材備品購入費(中学校分)282万円、エコ改修工事(小学校分)3億8千978万円、エコ改修工事(中学校分)5千471万円、学校ICT環

境整備事業(小学校分)1億5千128万円、学校ICT環境整備事業(中学校分)1千662万円、宇野気公民館外壁補修540万円、旧西田幾多郎邸書斎(骨清齋)移築工事2千700万円、クラブパル活動支援補助金1千万円、体育施設整備(河北台健民体育館床改修・高松GG場トイレ整備など)4千293万円、第2学校給食センター調理設備設置764万円、その他252万円を増額。

◆老人保健特別会計補正予算(第1号) 890万円を増額。(全員賛成)

◆ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号) 2011年の地上デジタル

歳出の主な内容



横山駅西口駐輪場再整備

●総務費 広報の電子編集システム化100万円、宇ノ気庁舎ホール照明などで735万円、横山駅西口駐輪場再整備800万円、ケーブルテレビ加入促進対策などで1千277万円、総務事務費2千170万円、その他28万円を増額。

●民生費 七塚健康福祉センター冷温水発生機取替工事1千500万円、福祉巡回バス事業(低床バス購入、市営バス利用事業委託料など)3千450万円、介護施設整備補助金1

億2千75万円、介護施設スプリンクラー整備補助金3千684万円、子育て応援特別手当事業(3歳から5歳児1人当たり3万6千円)4千510万円、保育園遊具修繕・備品購入費・地デジ対応など1千518万円、地デジ対応備品購入(子育て支援センター・学童保育クラブ・児童館)267万円、その他26万円を増額。

●衛生費 ほのほの健康館空調設備修繕など169万円、不妊治療費助成費の拡充130万円を増額。

●労働費 緊急雇用対策事業(臨時雇用21名分)2千30万円を増額。

●商工費 プレミアム商品券発行補助金1千万円、その他20万円を増額。

●土木費 高松IC雨水排水対策工事3千950万円、公園維持管理事業(水辺公園・潮見台公園)2千900万円、公営住宅取壊工事(4戸分)241万円を増額。

●消防費 消防資機材など購入費560万円、消防分団FAX更新180万円、防火水槽有蓋化(5箇所)1千100万円、地区災害対策備品など220万円、インフルエンザ対策備品350万円を増額。

●教育費 スクールバス更新(1台)1千697万円、小学校遊具修繕工事800万円、教材備品購入費(小学校分)290万円、教材備品購入費(中学校分)282万円、エコ改修工事(小学校分)3億8千978万円、エコ改修工事(中学校分)5千471万円、学校ICT環

境整備事業(小学校分)1億5千128万円、学校ICT環境整備事業(中学校分)1千662万円、宇野気公民館外壁補修540万円、旧西田幾多郎邸書斎(骨清齋)移築工事2千700万円、クラブパル活動支援補助金1千万円、体育施設整備(河北台健民体育館床改修・高松GG場トイレ整備など)4千293万円、第2学校給食センター調理設備設置764万円、その他252万円を増額。

◆老人保健特別会計補正予算(第1号) 890万円を増額。(全員賛成)

◆ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号) 2011年の地上デジタル

ル化移行に向けて、取次業者への手数料及びお友達紹介にかかる助成を拡充し、ケーブルテレビへの加入促進を更に進めるため、1千277万円を増額。(全員賛成)

条例改正

○認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 地方自治法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、市長が証明する認可地縁団体印鑑登録証明書の記載事項の一部を変更するもの。

○条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、個人市民税の寄附金控除の拡充や、平成22年度より前納報奨金制度を廃止するため、所要の改正を行うもの。

○心身障害者療養費の助成に関する条例の一部を改正する条例

議員提出の条例など

○市営住宅条例の一部を改正する条例 空き家となった市営住宅のうち老朽化の著しい4戸について、解体撤去し用途廃止とするため、条例中の管理戸数を変更するもの。(以上4件、全員賛成)

○議会議事規則の一部を改正する規則 「全員協議会」「議員協議会」「正副議長各委員長会議」「予算内示会」を会議規則に規定することにより、正規の議会活動として位置づけ、公務災害補償の対象範囲を拡大するもの。(全員賛成)

特別会計

◆老人保健特別会計補正予算(第1号) 890万円を増額。(全員賛成)

◆ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号) 2011年の地上デジタル

境整備事業(小学校分)1億5千128万円、学校ICT環境整備事業(中学校分)1千662万円、宇野気公民館外壁補修540万円、旧西田幾多郎邸書斎(骨清齋)移築工事2千700万円、クラブパル活動支援補助金1千万円、体育施設整備(河北台健民体育館床改修・高松GG場トイレ整備など)4千293万円、第2学校給食センター調理設備設置764万円、その他252万円を増額。

◆老人保健特別会計補正予算(第1号) 890万円を増額。(全員賛成)

◆ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号) 2011年の地上デジタル

境整備事業(小学校分)1億5千128万円、学校ICT環境整備事業(中学校分)1千662万円、宇野気公民館外壁補修540万円、旧西田幾多郎邸書斎(骨清齋)移築工事2千700万円、クラブパル活動支援補助金1千万円、体育施設整備(河北台健民体育館床改修・高松GG場トイレ整備など)4千293万円、第2学校給食センター調理設備設置764万円、その他252万円を増額。

◆老人保健特別会計補正予算(第1号) 890万円を増額。(全員賛成)

◆ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号) 2011年の地上デジタル

北朝鮮の核実験に抗議する決議

(決議文) 北朝鮮は5月25日、国連決議や6カ国協議共同声明さらには日朝平壤宣言に反して、2回目の核実験を強行した。

このような北朝鮮の行動は、我が国を含む地域の平和と安全を脅かすものであり、極めて憂慮すべきものである。

度重なる核実験は、国際的な核不拡散体制に対する重大な挑戦であり、唯一の被爆国である我が国としては、決して容認できるものではない。

よって、かほく市議会は、この暴挙に対し、強く抗議する。

政府においては、国際社会と協調し、北朝鮮に対して核兵器開発の中止と核の放棄を求めるため断固たる行動をとるよう強く求める。(全員賛成)

意見書

雇用促進住宅の廃止決定の白紙撤回を求める意見書

政府の「雇用促進住宅廃止方針の見直しを含む検討」は、入居者はもとより、新たに住まいを必要とする方々にとっては喜ばしいことである。経済不況の中、雇用と生活の安定という観点からも、国民の財産である同住宅に、さらに安心して住み続けられるように、同住宅を廃止するとして閣議決定を白紙撤回することが必要である。

以上の観点から、政府においては左記事項について要請する。

記

国民の財産である雇用促進住宅の有効利用という観点から、同住宅を廃止するとして閣議決定は、白紙撤回すること。

提出議員 坂井正毅
賛成議員 寺内照雄
杉本正一
(全員賛成)

パソコンを整備し、また、エコ改修として省エネ照明に交換するなどの工事を行うもので、その発注の形態は、法律・要綱などに基づき、ルールを守りながら、最大限市内業者を選定していききたい。

骨清窟の移築は必要か

高橋成典議員 骨清窟の移築費用は2千700万円と大きな額である。本当に必要か。

遠田教育長 西田幾多郎先生の書斎、骨清窟は国登録の有形文化財であるが、京都から移築され35年を経過し、老朽化が顕著な状態にある。今の場所は、地下水位が高く、湿気が多いため、長期保存に不向きと考えられ、また、拝観者は20年度は151名で、活用面での課題もあった。

適切な保護管理と良好な保存継承を目的とし、さらに有効活用を積極的に図るため、西田幾多郎記念哲学館への移築は必要である。



西田幾多郎博士の書斎(骨清窟)

議案第42・48号の全議案に対して

賛成討論

地域活性化につながる内容を評価する

金田正信議員 今回の補正予算は、経済対策臨時交付金を主な財源とし、地域の実情に応じた事業を行うものであり、地域活性化につながる。特に、小中学校など公共施設のエコ改修にウエイトが大きく、「地球温暖化対策」に対する取り組みを評価する。その他、専決案件・条例の一部改正などの議案においても必要不可欠な内容であり、全てに賛成する。

骨清窟の移築に反対

反対討論

高橋成典議員 西田幾多郎博士の書斎「骨清窟」(6坪)を2千700円で、国の経済危機対策臨時交付金を使い移築するが、これはもつと市民の暮らしに役立つことに使わなければならない。「骨清窟」の活用・保存においては、西田博士の施設が点在していることを活かし地域おこしにつなげるべきであり、現在地での保存を考え、市民や専門家の意見を聞き、時間を掛けて検討すべき。

安達肇議員 「骨清窟」の移築に関し、地元宇野気区で協議を行なった。その結果は、元々はその場所での西田哲学館とセットで見学していただいていたものであり、哲学館の移築に伴い「骨清窟」だけが取り残された。本来あるべき姿は哲学館の隣であり、宇野気区から無くなるのは寂しいが「骨清窟」の活用を考えると移築やむなし、との結論であった。

本来自あるべき場所は哲学館の隣

さらなる活性化への波及効果を呼び込むべき。朽ち果てていく状況にある遺品。今移築を「猪村博靖議員」は西田博士の最大級の遺品である。それが今朽ち果てていく状況にある。旧宇野気町で西田記念哲学館建設のあり、移築も検討したが、工法・費用の面で断念した経緯がある。今、財源の確保ができた段階で移築をし、後世に残すべき。

議会報告

会期5月12日

平成21年第2回臨時会



5月12日、会期1日で開催。かほく市

議会議員選挙後初の議会、議会の組織について協議し、正副議長及び各委員会組織が決められた。また、平成20年度一般会計補正予算の専決処分など5議案について審議し、原案のとおり承認した。

専決処分の主なもの

- ◇20年度一般会計補正予算(第9号)
 - ◇20年度下水道事業特別会計補正予算(第5号)
- 年度末で精算が必要となる事業費などについての減額補正が主なもの。
(以上2件、全員賛成)

条例等の一部を改正する案

地方税法などの一部改正に伴い改正したものであり、個人住民税での新たな住宅ローン特別控除の創設をはじめ、土地の長期譲渡所得に係る特別控除の創設など、所要の改正について専決処分をしたもの。
(賛成16、反対1)

国民健康保険条例の一部を改正する案

地方税法などの一部改正に伴い改正したものであり、介護納付金課税額に係る賦課限度額を9万円から10万円に改正するなど、所要の改正について専決処分をしたもの。
(全員賛成)

財産の取得について

高松分署の消防ポンプ自動車更新
契約の方法
指名競争入札
契約金額
2千436万円
契約の相手方
石川県金沢市増泉2丁目19番10号
株式会社 本田商会
代表取締役 本田昭
(全員賛成)



17年経過し更新される消防車

議会報告

会期5月29日

平成21年第3回臨時会

5月29日、会期1日で開催。給与に関する条例4議案について審議し、原案のとおり可決した。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する案
(賛成15、反対1)

条例改正

○議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する案
(全員賛成)

○常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する案
(全員賛成)

○教育長の給与、勤務時間その他の条件に関する条例の一部を改正する案
(全員賛成)

人事院勧告に伴い改正するもので、5月1日に人事院が景気の急速な悪化を受け、民間企業の夏のボーナス大幅減少が見込まれる実態を反映させるため、6月支給予定の国家公務員の期末勤勉手当を当初予定の2.15カ月分から2.0カ月分を引き下げ、1.95カ月分に凍結するよう内閣と国会に臨時勧告を行った。

市としては、人事院の勧告を基本に職員の給与の改正を行ってきたところであり、今回も勧告のとおり改正するものである。

質疑・討論

第2回臨時会 (5月12日)
第3回臨時会 (5月29日)

第2回臨時会において、提出された議案に対し質疑・討論を1議員が行なった。
第3回臨時会において、提出された議案に対し討論を2議員が行なった。

第2回臨時会

質疑

消防ポンプ車の入札

Q 高橋成典議員 消防ポンプ車購入の件で、3業者による指名競争入札で行なわれたが、その結果を見ると、落札業者と他の2業者では1千万円以上の開きがある。この大きな差について説明を求めます。

A 板坂総務部長 適正な方法で設計を組み、その設計に基づき適正な入札を執行した。結果的に、2業者が高額な札を入れたものであり、過去にもそういう事例はあった。

住民税の年金天引き

Q 高橋成典議員 税条例改正の件で、来年10月より、年金からの住民税の天引きが行なわれる。年金所得が年間18万円以上の人が対象となるが、市民に不安を与えないか。

A 板坂総務部長 国の地方税法改正に伴い、市の条例を改正するものであり、一般的には今年の10月から執行されるが、市では、システムの更新の関係上、来年の10月からとなる。広報・ケーブルテレビなどを通じて、住民の皆様へ周知していく。

反対討論

● 税条例の一部を改正する条例に対して

国が決めたことでも年金からの天引きに反対
高橋成典議員 医療保険制度に続き、住民税も年金から天引きされることは、高齢者にとってこの上なく生活しづらいシステムである。いくら国が決めたことでも反対である。

反対討論

● 一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に対して

内需拡大による景気回復に逆行
高橋成典議員 この条例により、夏季一時金(夏のボーナス)は、市職員全体で約2千350万円の減額となる。

人事院が公務員の夏季一時金、6月支給分を減額する勧告を出したことは、内需拡大による景気回復に逆行している。また、公務員の一時金削減は、賃金闘争真最中の民間中小企業の賃金を抑え込むことにもなる。この条例は、景気低迷と景気悪化の悪循環を加速させることになるものであり、反対する。

賛成討論

● 人間の事態を反映した人事院勧告に従うべき

安達肇議員 人事院勧告は景気悪化に伴う民間企業の実態を公務員に反映したものであり従うべきである。景気悪化により、税収が減っているのだから給料も減る。これは民間企業で言えば、収益減に伴い給料が下がるのと同じこと。

高橋議員は、内需拡大に逆行しているとの理由で反対しているが、そうであれば、同時に提出された、特別職及び議会議員の減額にも反対すべきであり、一般職の減額のみ反対するのはおかしい。

第3回臨時会



高橋成典議員

Q 深刻な雇用実態のもと、地元の中小零細業者に少しでも仕事を増やすために、「小規模契約希望者登録制度」の実施と「住宅リフォーム助成制度」の拡充を。

A 油野市長 「小規模契約希望者登録制度」の実施はしていないが、実態として小規模な修繕については施工内容などを考慮し、入札参加資格申請をされていない業者への発注を行っている。

現在、市では自立支援型住宅リフォームの事業を実施しており、福祉の向上・経済対策の一翼も担っている。「住宅リフォーム助成制度」は県内で取り組んでいる自治体はない。今後、目的や必要性を十分に研究しながら検討したい。

子どもの医療費を中学校卒業まで無料に検討している

Q 子どもの医療費無料化を中学校卒業まで拡大すべきではないか。県内では8市町ですでに実施している。今年、輪島市では小学校卒業までから一挙に中学校卒業までに広げた。そのための新たな予算は約150万円である。

A 市長 市では中学卒業まで医療費の助成を行っている。また、新生児1人につき3万円の商品券を贈呈や妊婦検診の公費負担を14回に拡大するなど、時代に合った子育て支援の充実、補充に努めている。

医療費の助成ばかりでなく、本当に何が必要なのか見極めながら、今後更に、子育て支援に努めていく。

市民に罰則的な徴収は廃止を

Q ゴミのステーション化が進められている。市民の協力が不可欠であるが、ゴミ収集協力が300万円から500万円に増額された。こうしたお金をなぜ、市民から徴収するのか、廃止を。

A 市長 4月1日現在で全世界の約71%がステーション化に移行し、市民の皆様のご理解のもと、着実に整備が進んできている状況にある。整備地区と未整備地区との不公平感をなくさなければならぬとのご意見もある。

今年度より協力を、年間1千円から2千円に引き上げをお願いをした。あくまでも受益者負担の趣旨を踏まえた協力金であり強制ではない。

鶴彬の資料を保存する資料館を語り継ぐことが大切

Q かほく市が生んだ鶴彬生誕100年を記念して映画が製作され、市としても後援するなどの協力をした。鶴彬の資料を保存するための資料館の設置を。

A 遠田教育長 鶴彬を顕彰する事業などを引き続き支援しながら、「高松町の先人」から「かほく市の先人」へと語り継ぐことが何よりも大切であると考えている。



鶴彬記念碑 (高松歴史公園)

一般質問

県内で取り組んでいる自治体はない 住宅リフォーム助成制度の拡充を

一般質問

民生委員の負担軽減とサポート体制を

市民との協働による「支えあいの福祉」で

Q市には民生委員が73名いる。これは約150世帯に一人、民生委員がいることになるが、区・町会単位で選任していることから、世帯数に応じた配分となっていない。そのため、一人ひとりの活動には大きな差が生じており、一部の委員には、大きな負担となっている。

A原因の解消と、民生委員が活動しやすい環境づくり及びサポート体制の充実を進めるべきでは。

Q市には民生委員が73名いる。これは約150世帯に一人、民生委員がいることになるが、区・町会単位で選任していることから、世帯数に応じた配分となっていない。そのため、一人ひとりの活動には大きな差が生じており、一部の委員には、大きな負担となっている。

A原因の解消と、民生委員が活動しやすい環境づくり及びサポート体制の充実を進めるべきでは。



安達肇議員

今後は、市民との協働による「支えあいの福祉」を目指し、民生委員の皆様が活動しやすくなるように、サポート体制の確立について、民生委員児童委員協議会と連携を図っていく。

今後は、市民との協働による「支えあいの福祉」を目指し、民生委員の皆様が活動しやすくなるように、サポート体制の確立について、民生委員児童委員協議会と連携を図っていく。



支えあいの福祉（民生委員の活動状況）

Q12月議会の一一般質問で、「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定していくとの答弁を頂いた。その作業はどこまで進んでいるか。また、今回のような弱毒性に対応しているか。

A市長 3月に県が改定した「新型インフルエンザ行動計画」を基に、市独自の行動計画の策定を進めているが、県の行動計画は強毒性を念頭に策定された内容であることから、弱毒性の適用を含めるため情報収集に努めている。

第2波がくる可能性が高い秋頃までには、市独自の行動計画を策定したい。

Q若年性認知症の方の受入れ施設を市単独では困難である

れている。現役世代での発症のため、家庭崩壊につながる恐れがある。その人たちの受け皿となる施設建設の考えは。

A市長 国内には、介護保険制度に基づく若年性認知症の専用施設はなく、高齢者とともに通所介護や認知症対応型通所介護に通うか障害福祉サービスを利用するしかない現状である。施設の建設には、市単独で建設することは、財政面はじめ様々な課題から、困難である。

Q入札業者のA・B・C・Dランクのつけ方はどのような基準で決められているのか。

A副市長 建設業者の経営事項審査の総合査定値、これに除雪協力や、災害時の協力協定を含め市独自の主観点数を加え、総合点数を算出し、ランク付けを行っている。

Q予定価格の公表は物品購入は無し

A架谷副市長 建設工事・委託業務に係る入札は予定価格の事前公表を行なっている。物品購入に係る入札は事前公表の対象にしていない。



認知症予防出前活動（いちご会）

Q認知症・認知症予防普及啓発活動の具体的取り組みの中で、「アクティビティ・認知症予防事業」とあるが、どのようなことをしているのか。

A油野市長 特定高齢者施策事業として、介護予防検診での生活機能の評価や相談窓口などで把握されたうち、うつ・認知症・閉じこもりなどの恐れのある高齢

者を対象に、その予防と支援を実施している。

Q普及啓発にもっと民間を活用してはどうか。

A市長 行政主導には限界があり、地域住民と一緒に取り組む地域支援体制の構築に「いちご会」の協力もいただき鋭意取り組んでいる。身近な社会資源を有効活用していきたい。

多々見邦次議員

一般質問

認知症予防の普及啓発を

社会資源を有効活用していく

一般質問

格差のない融和のとれたまちづくりを 均衡ある発展に取り組む

Q これまでに取り組んできた旧3町の融和をどう評価するか。

また、今後市民が願う格差のない融和のとれたまちづくりを進めるためにどう考えるか。

A 油野市長 市長就任当初より、旧3町の融和・一体化に努めることが最重要課題と考えてきた。まちづくり基本方針である、海とみどりに抱かれた「やすらぎ」

と「うるおい」のあるまちの実現を目指し、それぞれの歴史、文化、伝統についても尊重しながら、バランスのとれたまちづくりに全力で取り組んできた。

今後も、限られた財源の中で選択と集中、優先順位を見極めながら、市政の推進にあたっていく。市民の皆様にも「任んでよかった」をさらに実感していただけて、旧まちづくりを推進し、旧

3町というフレイズがなくなるよう、これまで以上に新生かほく市の融和・一体化に努め、均衡ある発展に全力で取り組む。

市内事業者の

経営安定支援事業を

利子補給事業を23年度

まで予定している

Q 市独自の制度として、経営安定支援融資利子補給補助金を始め、市商工会と連携したプレミアム付商品券の発行などを行っているが、更なる経営安定のための施策が必要ではないか。

A 市長 商工会からプレミアム付商品券発行事業を追加で実施したいとの強い要望を受け、支援を行うことになっており、また利子補給事業につきましては、20年度から23年度までの4年間、予算計上を予定している。



好評を得たプレミアム付商品券の販売

再就職支援事業を

中高年齢者職業訓練

奨励金を実施している

Q かほく市における再就職支援の有無は。

A 川島産業建設部長 再就職支援事業としては、国所管の雇用・開発促進機構や県の職業能力開発施設で6ヶ月以上の職業訓練を受ける45歳以上の中高年齢者に対し、訓練を受けるための奨励金として5万円を交付する「中高年齢者職業訓練奨励金」事業を行っている。

坂井正靱議員



遠田順議員



Q 市道向野2号線にJR秋浜踏切があるが踏切近くに

なる道路が狭く、また、斜めに横断しているうえ高低差があり見通しも悪い。対向車同士どちらが優先して進行すればよいか分からないとの声があり、とても往来がしにくい危険な踏切である。このJR秋浜踏切を整備して安心して通行できるような方法はないか。

A 油野市長 JR七尾線と

交差する秋浜踏切の整備・拡幅要望は、宇野気区から以前に要望が提出されている。その整備の必要性については十分認識しているが、現在、市管内の踏切は、秋浜踏切を含め、全部で20箇所あり、ほとんどが狭い踏切となっている。秋浜踏切周辺では、山側に接道している市道向野2号線の道路

学童保育の年齢延長は 現時点では対象を拡大 することは困難

改良を平成15年度に実施して、車輛が安全に滞留できるレーンを設けるなど、できる対策については行っている。事業化については他の踏切も含め総合的に検討をしていく。

Q 少子化社会の子育て世帯

に対して共働きや一人親世帯が増えてきている中で、児童たちが小学校を下校したあとに学童保育に預かっていたらいいが、現在3年生までが対象となっている。生活環境が変化していく中、対象年齢を小学校6年生まで延長できないか。

A 市長 現在、市では、法の趣旨に基づき、小学校に就学している3年生以下の



狭くて危険な秋浜踏切り（宇野気地内）

児童を対象にしているが、仮に対象学年を6年生まで拡大した場合、対象児童数の増加により、現施設が設置されている敷地面積や施設の増築などを始め、場合によっては職員の増員が必要となる。現時点で学童保育の対象を6年生まで拡大することは困難であると考えているが、夏休み期間など、保護者の状況により一時的に学童クラブに入会することを希望した場合については、学童保育クラブの趣旨に沿って、入所を受け入れることも今後検討したい。

一般質問

JR七尾線秋浜踏切整備の考えは 他の踏切も含め総合的に検討

議会には3つの常任委員会があり、審議の内容を報告します。

総務常任委員会

再利用については安達委員の発言のとおりである。

・おもな質疑

(所管事項含む)

高橋委員
エコ改修で、本庁舎大集会室の照明灯取り替え工事を行うとのことだが詳細は、また使えるものは再利用すべきでは。

安達委員

製品から発生するCO₂はラッピング中が9割、製造・リサイクル段階で1割であることから、※政府はエコ製品に買い替えを進める政策を行なっている。使えるからといってエコでない製品を使い続けるのはエコ対策と逆行すると思うが。

綾瀬管理課長

老朽化しており、電気料も高額である。改修によって、電気料は安くなり、照度は200ルクスから700ルクスと明るくなる。

大集会室の電球は特殊で再利用する行政施設もなく、

エコ改修、本庁舎大集会室照明灯取り替えに735万円計上



エコ改修で照明灯取り替え（本庁舎大集会室）

・審査の結果

- 21年度一般会計補正予算
- 21年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算
- 認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
- 税条例の一部を改正する条例

(以上、全員賛成)

総務常任委員会

- 委員長 竹内 幹雄
- 副委員長 安達 肇
- 委員 多々見 武
- 高橋 成典
- 金子 猛
- 欠席 西田 正剛

企画情報課長

加入率は難視聴地域が必然的に高く、環境の良い所は低い傾向があり、比較の

公表は難しい部分があるが、低い地区には非公表ながらも、お願いしていく。

竹内委員長
平成24年度までに消防の広域的な統合計画があるなかで、本署・分署共に老朽化が進んでいる。広域統合を見据えながらも、業務に支障を来たさないよう整備すべきと考えるが。

釜井消防長
広域化については、現在検討を重ねており、これらが重要な話し合いになると認識している。ハード・ソフト両面で、しっかりと対応していく。

※注釈

「エコ」の略は、「地球に優しい」という意味で使われ、政府はエコポイント制度やエコカー減税などエコ製品の普及促進を図っている。使用済み製品は、適正なリサイクルにより、エコ製品などに生まれ変わる。

市民文教常任委員会

・おもな質疑

(所管事項含む)

多々見邦次委員

今回の補正予算でスクール・ニューデイル構想として6億3千654万円計上されているが、その中にCO₂の削減、環境負荷の低減とあるが、学校の周りに広葉樹を植えてさわやかな風を入れたほうが体にもいいと思う。

樹木を植えるのは補助金の対象にならないのか。

酒尾学校教育課長

補助対象になっていない。

金田委員

学校ICT環境整備事業で、従来使っているテレビを、50インチ以上にした場合、アナログテレビよりも消費電力が相当大きいと思うがエコ対策になるのか。

千田学校教育課長補佐

消費電力に関しては、大

スクール・ニューデイル構想に6億3千万円計上

・審査の結果

- 21年度老人保健特別会計補正予算(第1号)の専決処分の承認を求めることについて
- 21年度一般会計補正予算(第1号)
- 心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

(以上、全員賛成)

市民文教常任委員会

- 委員長 猪村 博靖
- 副委員長 遠田 順
- 委員 杉本 成一
- 荒井三喜雄
- 金田 正信
- 多々見邦次

荒井委員

不妊治療助成で、5万円から10万円に拡大することは評価するが、手続きを簡素化できないか。

三嶋健康福祉課長補佐

現在は償還払いの方法を採用しているため煩わしく、極力簡素化できるように検討していきたい。

猪村委員長

スクールバスの運行に際して、児童の活動以外の目的で使用することがあるのか。

学校教育課長

スクールバスの使用規定のなかのひとつに、「公共の用に供するため特に必要と認めるとき」という項目がある。現在、健康クラブの行事に使用している。



エコ改修が行われる小中学校（宇ノ気小学校）

杉本成一委員
市には数多くのスポーツ施設があるが維持管理が大変である。今後どうする予定か。

教育部長

合併後、同規模の自治体に比べ数多く、また古いものも多いのが現状である。体育施設については、各

種団体と協議し、基本的には統廃合を前提に進めていく。

産業建設常任委員会

好評のプレミアム商品券
年末商戦として再度発行

審査の結果

おもな質疑
(所管事項含む)
別宗委員
今回のプレミアム商品券を見て大好評、経済対策の一環としてもタイムリーな施策である。詳細は、川島産業建設部長

澤野商工観光課長
緊急雇用については、21年から23年の3年間実施する。本年度21名を予定、来年度も若干減るが交付金を受けて実施していきたい。

大西都市建設課長
東と協議したい。

宇野委員
国道159号二ツ屋地内がきれいに整備されたが、接続部分が狭く非常に危険である。線引きか、看板設置で注意を促すべきでは。

川島産業建設部長

前回は5月1日から3日に販売して完売。現在7千万円近く利用がされている。幅広い業種の約270店舗が加盟しており、市民の生活支援に非常に効果が出ている。今回、商工会から年末商戦として再度実施の強い要望があり、補正計上した。

寺内委員
高松IC周辺の雨水対策で、毎秒4.2トンの水が流れるとの説明だが、有料道路下には既設のヒューム管1500ミリがあり、下流のヒューム管が800ミリでは対応できないのでは。

山森都市建設課長補佐
有料道路下はさわれないので、下流側を雨水対策事業で大きな水路に整備していきたい。

津幡バイパス4車線化と合併支援助道東西幹線の進捗状況は。都市建設課長

産業建設常任委員会
委員 長 沖津千万人
副委員長 宇野 順一
委員 別宗 明敏
寺内 照雄
杉本 正一
坂井 正毅

坂井委員

緊急雇用対策として21名、臨時職員を採用予定とあるが、現在経済状況が大変厳しい。今後更なる計画はないのか。

杉本正一委員
大崎海岸から白尾海岸の護岸浸食が激しい。現地踏査のうえ対応を。



大好評であったプレミアム商品券

議会組織決定

- 議長 杉本 成一
- 副議長 金田 正信
- 議会選出監査委員 杉本 正一
- 総務常任委員会(6人) 委員長 竹内 幹雄 副委員長 安達 肇 委員 西田 正剛 多々見 武 高橋 成典 金子 猛
- 市民文教常任委員会(6人) 委員長 猪村 博靖 副委員長 遠田 順 委員 杉本 成一 荒井三喜雄 金田 正信 多々見邦次
- 産業建設常任委員会(6人) 委員長 沖津千万人 副委員長 宇野 順一 委員 別宗 明敏 寺内 照雄 杉本 正一 坂井 正毅
- 議会運営委員会(6人) 委員長 別宗 明敏 副委員長 寺内 照雄 委員 猪村 博靖 竹内 幹雄 沖津千万人 荒井三喜雄
- 広報特別委員会(7人) 委員長 多々見 武 副委員長 遠田 順 委員 金田 正信 宇野 順一 安達 肇 多々見邦次 坂井 正毅
- 河北都市広域事務組合議会議員(4人) 寺内 照雄 西田 正剛 沖津千万人 荒井三喜雄
- 石川県後期高齢者医療広域連合議会議員(1人) 猪村 博靖

◆全国永年勤続表彰 次の4名の方が表彰されました。



山田 前議員 西田議員 杉本成議員 寺内議員

編集を終えて

新議会が組織されて初めての議会広報です。編集に当たっては、議会の活動状況の報告、そしてそれらを通して市民の皆様の理解や交流に役立てようという読み易く、親しまれる紙面をとお願いつつ有意義な広報を目指して委員一同努力研鑽致します。今期も変わらぬご支援をお願い致します。

広報特別委員長 多々見 武

次の定例会は、9月2日からです
議会風景をあなたの目で

本会議・常任委員会の傍聴ができます。本会議は30名、常任委員会は8名の定員で受付順となります。インターネットを接続している方へ本会議は、ケーブルテレビのかほくチャンネルで生中継・録画が見られます。本会議は、かほく市ホームページで、次のとおり紹介しています。ぜひご覧ください。市のホームページ→映像ライブラリー見る の順で開いて下さい。なお、ご覧になる場合は、ホームページに記載されている推奨環境が必要です。映像ライブラリー

かほく市ホームページ
<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp>



誰もが実践できる6つの具体的なアクション

1. 温度調節で減らそう
●冷房時の室温は28℃にしよう
2. 水道の使い方で減らそう
●蛇口はこまめにしめよう
3. 自動車の使い方で減らそう
●エコドライブをしよう
4. 商品の選び方で減らそう
●エコ製品を選んで買おう
5. 買い物とごみで減らそう
●過剰包装を断ろう
6. 電気の使い方で減らそう
●コンセントからこまめに抜こう

平成20年12月12日 市議会は国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に登録し地球温暖化対策に取り組んでいます。